

# 富山県災害廃棄物処理計画 改定の概要

令和2年3月27日 富山県環境政策課

## 1 改定の背景

平成30年2月	県地域防災計画の修正	… 邑知潟断層帯等の地震被害想定を追加（6ケース）
3月	国の災害廃棄物対策指針の改定	… 近年の災害（中規模・中頻度）の課題・教訓を踏まえた対応の追加
平成31年3月	県災害時受援計画の策定	… 全国からの人的・物的支援の受援体制が全庁的に整備
令和元年10月	台風19号災害での支援	… 初めて中部ブロック広域連携計画に基づき他県を支援（本県が幹事支援県）

## 2 主な改定内容

### (1) 地震による災害廃棄物発生量等(推計値)の追加

＜追加した地震＞ 砺波平野断層帯西部、森本・富樫断層帯、邑知潟断層帯(ケース1～4)

＜推計項目＞ 災害廃棄物の発生量・処理可能量、処理フロー、仮置場の必要面積、し尿の収集必要量、避難所ごみの発生量

表 地震による災害廃棄物発生量の推計値(地域別)

□ : 今回追加 (単位: 千トン)

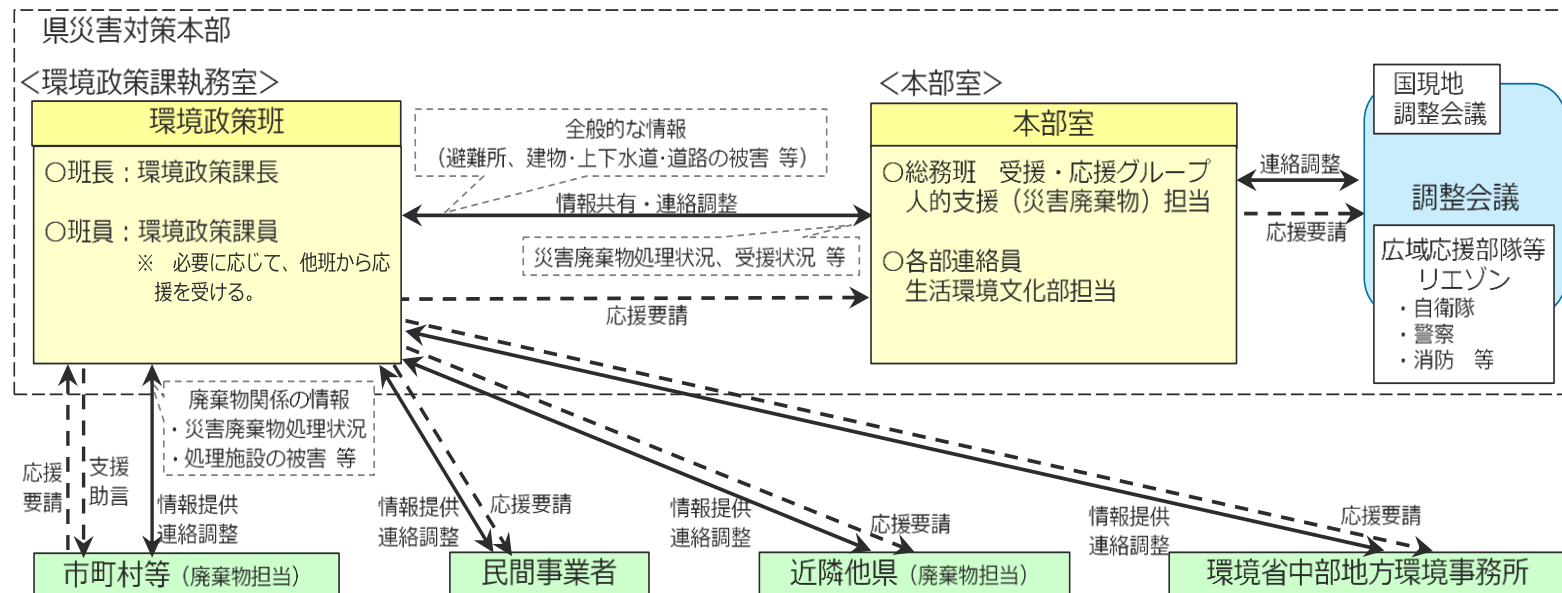
地域	地震	呉羽山断層帯	跡津川断層	法林寺断層	砺波平野断層帯西部	森本・富樫断層帯	邑知潟断層帯(ケース4)
富山広域		4,986	1,245	847	14	7	243
高岡広域		4,250	398	595	1,373	215	6,678
砺波広域		399	7	4	269	281	619
新川広域		447	188	67	0	0	0
射水市		2,715	371	407	58	9	815
県全体		12,796	2,208	1,919	1,714	512	8,356

### ＜ポイント＞

- 県全体で発生量が多いのは、①呉羽山断層帯、②邑知潟断層帯（①は、平時の一般廃棄物排出量の約30年分に相当）
- 地域別では、呉羽山断層帯では富山広域が最も多いが、邑知潟断層帯では高岡広域が最も多い。
- 本県では、市町村等のごみ処理施設の広域化・集約化が進み、稼働停止の場合、処理が困難となるおそれがある。  
⇒ 民間事業者や近隣他県等との連携が重要。

### (2) 関係機関との連絡・調整手順等の一元化

＜ポイント＞ 県受援計画や中部他県への支援経験を踏まえ、連絡・調整手順を一元化。



### (3) 国の災害廃棄物対策指針の改定内容の反映

#### ＜ポイント＞

○近年の災害（中規模・中頻度）の課題や教訓を踏まえ、初動対応で実施すべき事項などを追記。

#### ＜主な追記・変更内容＞

- ・初動対応に係る片付けごみ対応
- ・太陽光発電設備等への対応
- ・片付け等に係るボランティアへの周知
- ・損壊家屋等の撤去（必要に応じて解体）
- ・処理指針等の位置付け
- ・各種法令・指針・計画の体系図
- ・用語集